



インタビュー  
まちすき♡

エクステリア・デザイナー  
ブロック塀診断士  
芦川 美香さん



【プロフィール】

横浜市南区のエクステリアデザイン会社「アフロとモヒカン」代表取締役。アイランドデザイン製作担当でモヒカンがトレードマークの夫と二人、それぞれの専門を生かし活動中。「エクステリアプランナー」「屋上緑化コーディネーター」の資格のほか、「ブロック塀診断士」の資格も持つ。趣味は音楽。社会人ビッグバンドで横浜ジャズプロムナードにも出演。

◆アフロとモヒカンHP  
<http://afro-mohican.com>



「現在のお仕事 活動へのきっかけは？」  
エクステリアデザイナーは庭や塀など建物以外のデザインですが、これは「軒軒からの街づくり」なのだと思っています。「街づくりに関わりたい」という自分の思いの原点は、中高校生の時に、みなと祭（現：ザよこはまパレード）や、国内外各地の姉妹都市のフェスティバルなどで、マーチングバンドの演奏をしながら見た、街並みの美しさです。

生まれた時から住んでいる南区の中村川沿いは横浜港からの水運の便が良く、古くから木工・鉄工の盛んな街で、祖父は桐箆等の職人でした。自分の中の、物づくりに街づくりに重なるところがエクステリアだったのかもしれない。

「心がけてほしいこと」  
自分が憧れお手本としているのは山手洋館群のひとつ「山手11番館」。品があつて小綺麗で、緑が多く、造形的ながらも無駄がないところが好きです。また、例えば港南区などで昭和40年代に大規模開発された住宅街も、横浜のひとつの原風景ですね。そうした街にも馴染むエクステリア創りを心がけています。「ガーデン外交」という言葉をよく使っているのですが、お庭を通して街の人の土の会話が生まれるような、住む人が主役になれる仕事をしていきたいです。

また、農家出身の母が長年の夢を叶え、数年前に「房総半島の山奥に家を買って、畑仕事に精を出しています。その姿や環境を見て、あらためて緑のある暮らしを作り、植物の力を伝える覚悟ができました。これからしたいことは？」

東日本大震災で、近所でもブロック塀が倒壊し、その被害を目の当たりにして、自分の仕事が街の安心安全に大きく関わっていると実感しました。その後、大阪北部地震で犠牲者が出たことをきっかけに、当時は下火だった「ブロック塀診断士」の資格試験が再注目を浴び再開したので、すぐ取得しました。今は所属の協会を通じて、市内のブロック塀の安全性の診断、改善作業に携わっています。

この事業のチラシをもっと一般向けに分かりやすくして、多くの人に伝えたい、というのが今のひとつの目標です。横浜市では現在補助金制度もありますので、気になる場所がある方は市の建築局建築防災課へ相談してみたいですね。



「台風15号の直撃にあっても、母の千葉の家は木に守られていました。緑と共存する暮らしのために何ができるかと改めて考えています」と芦川さん。

季節と暮らそう  
秋のお届け便

「横浜市子ども植物園」より、季節の植物を紹介します。

どんぐり



どんぐりころころ どんぶりこ〜♪ 誰からも親しまれているどんぐりは、ブナ科の木に実る堅い果実のことです。丸い形のクヌギ、大きめなマテバシイ。すっぽりと殻に包まれたスタジイ。みんなどんぐりです。

竹ひごやようじを差し込んで作るとコマやジャロベエになります。バランスをとるのが、少し難しいかもしれませんが、秋の自然遊びの一つです。また、水でさらして洗を抜き、細かく砕いて、クッキーやパンケーキに加えると素朴な味のおやつにもなります。もちろん種子ですので土に播けば、芽を出して、やがては大きな樹木となります。小さな葉っぱが、出てくる不思議さとうれしさを家族で観察することで、「育つ」ことを感じることができるでしょう。

(緑の相談員・井関真由美)

◆横浜市子ども植物園 南区六ツ川3-122 045-741-1015  
開園時間9:00~16:30 入園無料  
※園内で開催している子ども向けイベントをベイ★キッズめ〜るに掲載中。メルマガ登録は3面を見てね。



Happy Communication

2020年のオリンピック・パラリンピックを契機として、国籍、障害の有無など、状況が異なるもの同士が繋がっていくため、心のバリアを取るための色々なヒントを紹介するコーナーです。



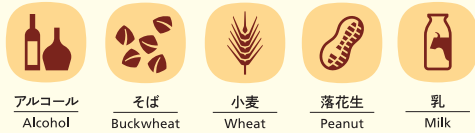
ピクトグラム(図記号)に注目!

◆ 日本発祥 ピクトグラム

「図記号」が生まれたのは前回1964年の東京五輪がきっかけ。多言語での表記に限界があったことから、競技を表す絵記号やトイレや救護所を表すマークが日本で生まれました。その後、公式の「標準案内用図記号」を作ろうと2002年の日韓W杯を前に各業界の専門家たちが集まりました。どんなマークが必要か、意図に沿ったふさわしい要素はなんなのか、調査・研究を重ね、125個(当時)が作成されました。オリンピック・パラリンピックの開催が迫ったいま、2020年以降も視野に、誰もが安心して移動、利用できるインクルーシブな社会への一歩として、整備が進められています。

<一目で食材がわかるピクトグラムも>

国や文化、宗教の違いやアレルギーなどで食べられる食材が制限されている人に、安心して食事を楽しんでもらうため、空港やホテルなどで活用が始まっています。



© INTERNASHOKUNAL & NDC Graphics

<横浜からの思いも乗せて>

今回の取材では、2002年開発当時から関わってきた横浜のデザイン会社「NDCグラフィックス」でお話をお聞きました。シンプルの中にわかりやすさを追求するピクトグラムには、今年6月に亡くなった前代表の中川憲造さんとNDCグラフィックスのみなさんの「デザインで社会を良くしたい」という思いが込められています。

文字に頼らず情報を伝える図記号「ピクトグラム」は、視力の低下した高齢者や障がいのある人、言葉のわからない外国人や子どもにも一目でわかるよう作られており、世界中で広く掲示されています。2020年を前にした日本で、誰もが安心して移動・利用できる環境を作っていくとピクトグラムのリニューアルがはかられ、新作が登場しています。

◆ 時代を映す図記号

wifi、充電コーナー、シェア自転車、ホームドアの注意書きなど、前はなかった新しいマークが作られたり、昔の価値観で作られていたものが刷新されました。



Designed by SDA+ 中川憲造 / NDC Graphics

パパと遊ぼう!  
ユニークな芝生広場へ行こう!

公園にお出かけ編

芝生広場はたくさんあるけど、ここではひと味違うものをご紹介します!いつもと違った気分でのびのび遊んでみませんか?



横浜のパパが発信!  
パパが子育てを楽しむためのコーナーです。

✓ 新杉田公園(磯子区)

シーサイドラインを間近に見ながらのんびり芝生広場でピクニック。乗り物好きなお子さんとお出かけしたい公園です。ドッグランもあるのでワンちゃんとお出かけもオススメです。<https://asobii.net/34436>  
■横浜市磯子区杉田5-32JR京浜東北線・根岸線、金沢シーサイドライン「新杉田駅」下車、徒歩10分。



✓ 入船公園(鶴見区)

三両編成の可愛い電車「鶴見線」に乗ってお出かけがオススメ。工業地帯の中にある自然たっぷりの公園です。秋には例年「どんぐりポスト」が設置され木の実拾いが親子で楽しめます。

<https://asobii.net/54378>

■横浜市鶴見区弁天町3-1 JR鶴見線「浅野駅」下車徒歩1分



✓ たちばなの丘公園(保土ヶ谷区)

なぜかたくさんトンネルがいっぱいある?!こちらはかつて火薬工場があった場所に作られた公園。草地広場でお弁当を食べたり、谷戸の里山風景を楽しんだりとたっぷり遊べるスポットです。<https://asobii.net/57249>  
■横浜市保土ヶ谷区仏向町1585-2相鉄線「和田町駅」から相鉄バス「新桜ヶ丘団地行き」県公社住宅前」下車徒歩5分、または、西原住宅行き「浄水場裏」下車徒歩10分



✓ 東高根森林公園(川崎市)

弥生時代から古墳時代にかけての住居跡が眠る古代芝生広場は標高55mの高台にあってとっても気持ちがいいスポットです。休みの日にはピクニックを楽しむ家族で賑わっています。

<https://asobii.net/66167>

■川崎市宮前区神木本町2-10-1JR南武線「武蔵溝ノ口駅」、田園都市線「溝ノ口駅」南口より川崎市営バス(溝10・11・15・16・17・18・19系統)「森林公園前」下車徒歩3分 等

